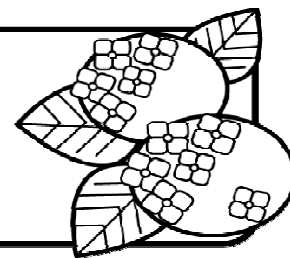




塚口中学校

カウンセリングルーム便り

6月号



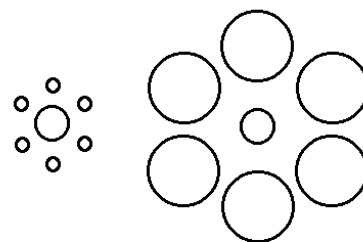
例年より早く、梅雨入りしました。雨の多い時期ですが、時々晴れるとやはり嬉しくなりますね。

みなさんの体育大会の練習の様子を、時々見せてもらっていました。元気よく練習している姿はとても素敵でしたよ！

さて、今月のカウンセリングルーム便りでは「^{さくし}錯視」のお話をします。

右の2つの図の中心にある円に注目してください。ぱっと見ると左の中心の円のほうが、右の中心の円より大きく見えるように感じます。ですが、実際に円の直径を測ってみると、同じ大きさの円ということがわかります（ぜひ、定規で測ってみてくださいね！）。

これは、エビングハウスという心理学者が考えた図形で、同じ大きさの円が違う大きさに見えてしまうような「目の錯覚」のことを「錯視」といいます（ほかにもいろいろな「錯視」の図があります）。人の目がいかに不確かであるか・・・ということとともに、この図ではもう一つ大切なことに気付かされます。それは「周りに比較するものがあることで、同じものでも小さく見えたり大きく見えたりする」ということです。



私たちはどうしても「誰か（何か）と比較する」ことをしがちです。そうすると、「本来のその人（自分）そのもの」を見えにくくさせてしまうかもしれませんね。この図は、そういった心の在り方も教えてくれているように思います。



☆カウンセリングルームのお知らせ☆

6月 11, 18, 25 日

7月 2, 9, 16 日

火曜日 10:00~16:45

※予約が優先です。学校の先生やカウンセラーを通して予約をお取りください。保護者の皆様からのご相談もお受けしております（秘密は厳守します）。ご希望の方は学校の先生を通していただくか、お電話にて予約をお取りください。

塚口中学校 スクールカウンセラー 野村 美生